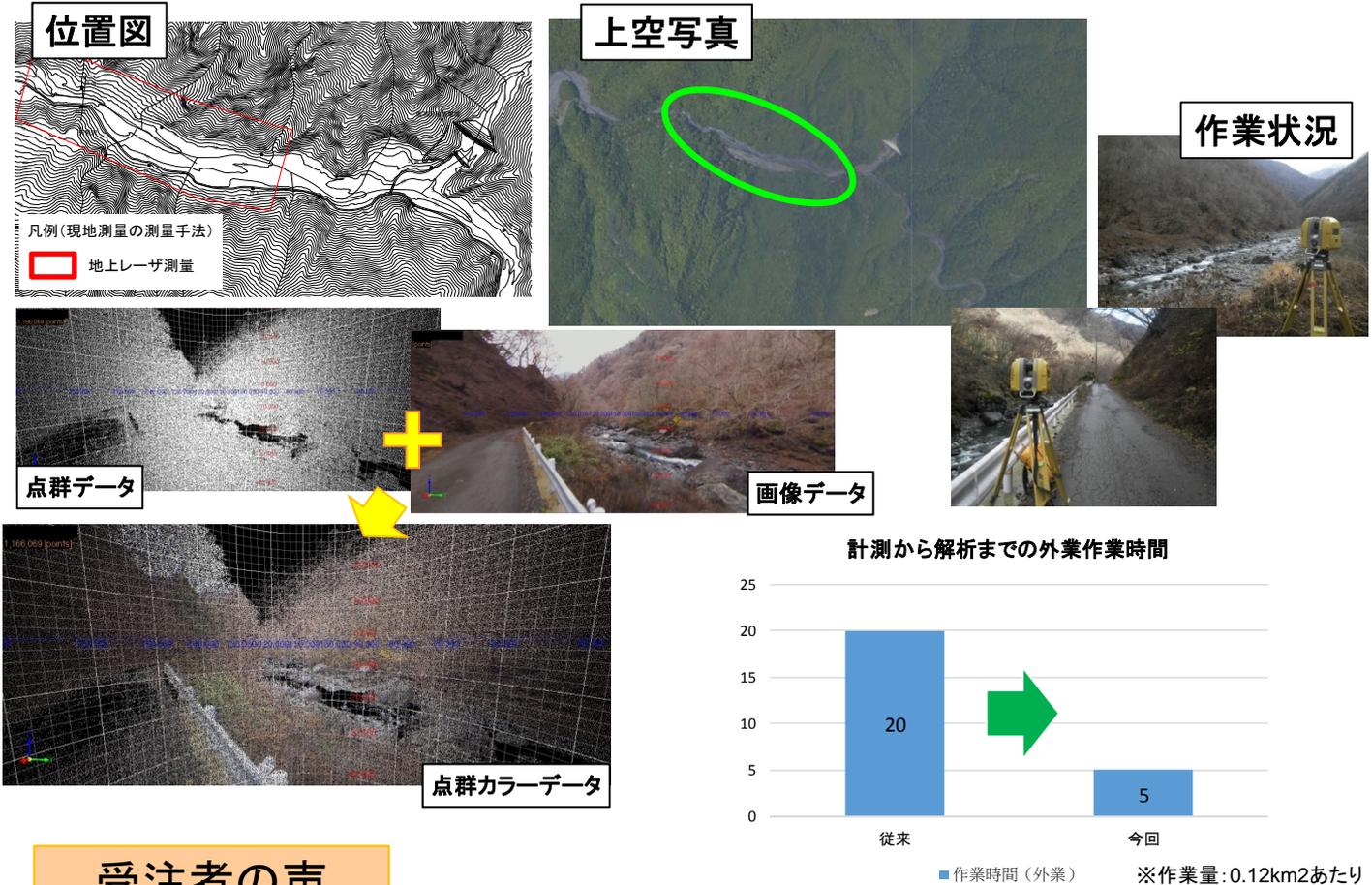


中部地方整備局天竜川上流河川事務所 平成28年度 天竜川水系遠山川上流測 量業務

発注者:中部地方整備局
天竜川上流河川事務所
受注者:(株)小林コンサルタント
作業量:0.12km²

- 測量区分(測量方法):現地測量(地上レーザ測量)
- 地域・地形区分:低山地・原野及び森林
- 発注方式:受注者希望型(価格競争)



受注者の声

- 履行期間(工程):「レーザースキャナーの使用により、作業日数がTS測量と比べて外業が20日から5日になるなど、短縮ができた。反面内業は、従来、10日程度で完了するのに対し、時間を要する内業の点群データのフィルタリングに要する人数を増やしたかったが、処理可能なアプリケーションのライセンスに限りがある為、フィルタリングに30日程度を要したため、全体の所要日数は増加した。」
- 編成:「ICTの活用であったが経験の浅い技術者でも約2日間の講習で対応が可能であった。従来は、外業に一班3人体制のところ、一班2人体制の少人数対応が可能であった。そのため、作業日数を要した内業を含めても省人化が図られた。」
- 品質:「従来のTSによる点処理と異なり、点群での管理となるため、現況の形状が詳細に表現する事ができ、成果の品質向上につながった。」
- 課題:「TS測量との併用でより効率が上がる場合もあるので、観測計画を密に立てる事が必要。また、マニュアルにおいて、点群データの点検測量を実測横断との比較としたが、斜面部等の危険箇所への立ち入りが減り危険度が下がったにも関わらず、点検測量にて立ち入ったため、従来と同様の危険度となったのは、反省点である。」